

2015 建国幼稚園 重点目標

1. (民族) 自分の民族に親しむ心を育てる
 - ・ 日常の挨拶や生活、また民族行事を通して自国の文化に触れる。

2. (活動) 遊びを通して学び、生きる力を育てる
 - ・ 子ども達が理解しやすいように環境や教材を工夫する。
 - ・ 小学校での韓国語教育の前段階として日常会話、聞き取りに重点をおいて指導する。
 - ・ グループ活動、縦割り活動を導入し、互いに助け合い、話し合いながら活動することで連帯感を持つことができるようにする。
 - ・ 発表会などの行事の際は子どもの主体性を大切に、自発的に活動できるよう助言、指導に努める。
 - ・ 年長児においては、小学校と連携して、学校生活をイメージし、適応しやすいよう交流行事を行う。
 - ・ 様々な活動を通して、身近な自然と関わるができるようにする。

3. (生活) 基本的な生活習慣や食習慣を身に付ける。また、丈夫な体作りを通して健康への関心を育てる
 - ・ 自らすすんで挨拶する。挨拶を習慣化する。
 - ・ 着替え、荷物の整頓、排泄等、身の回りの事は自分でできるようにする。
 - ・ 食事のマナーの向上。好き嫌いなく何でも食べる子どもに育てる。
 - ・ 年間を通してリズム運動や体操教室で、健康で丈夫な体をつくる。
 - ・ 園と家庭とで連携して、子ども達が食事、健康、安全面などで良い習慣を身に付けられるようにする。

4. (人権) 自尊感情を高め、人とかかわる力を育てる
 - ・ 自分を大事に思い、相手を思いやる心もち、お互いに気持ちを伝え合うコミュニケーション力の向上を目指す。
 - ・ 子どもが、自分の気持ちを言葉で表現できるように導いていく。

5. (地域連携) 地域に開かれた園づくり
 - ・ 学校ホームページ、園ブログを通して常に新しい情報や日々の活動を発信していく。
 - ・ 保育参観や行事を通して、園生活の様子を知らせる。
 - ・ 地域子育て支援活動の一環として、子育て相談や、ぴよんあり(未就園児親子教室)を実施し、園庭解放を再開する。あわせて、今年度より一時預かり保育と延長保育を実施し、一層開かれた園づくりを目指す。

2015年度建国幼稚園 学校評価保護者アンケート

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない

2016年1月

D:まったくあてはまらない

番号	設 問	保護者 集計結果				A+B	C + D	教師 アンケ ート
		A	B	C	D			
1	日常の挨拶や生活、また行事を通して、韓国の文化に触れている。	66	22	6	0	88	6	73
2	子どもは、幼稚園に楽しく通っている	78	16	6	0	94	6	87
3	子どもは、園行事や活動を楽しんだり、達成感や充実感を得ている	75	22	3	0	97	3	73
4	園での経験が子どもの成長につながっている	78	22	0	0	100	0	73
5	すすんで挨拶したり身支度、食事などの生活習慣が身に付いている	38	43	19	0	81	19	83
6	集団生活での約束やマナーを理解し、行動しようとしている	50	38	12	0	88	12	80
7	子どもは、友達や先生が好きである	84	16	0	0	100	0	90
8	自分の思いを相手に伝えたり、相手の気持ちを理解しようとしている	41	50	9	0	91	9	90
9	好き嫌いなく何でも食べ、毎日のリズム運動や体操教室で、健康で丈夫な体作りをしている	53	44	3	0	97	3	87
10	園は、教育方針を分かりやすく伝えている	38	34	25	3	72	28	57
11	園は毎月の通信、連絡帳、懇談、ホームページなどで子どもの活動の様子を伝えている	59	25	13	3	84	16	67
12	園は、家庭と連携を図り子どものことについて気軽に相談できるようにしている	69	12	19	0	81	19	77
13	担任は、子どもをよく理解し、子どもの良さや力を引き出そうとしている	75	16	9	0	91	9	80
14	自然に親しみ、飼育や栽培活動を通し、命の大切さに気づくよう指導している	69	28	3	0	97	3	67
15	園は、手洗い、うがいなど衛生習慣を身につけ、子どもの健康や安全に配慮している	72	25	0	3	97	3	87
16	園庭や保育室などの掃除や整理整頓などの環境整備を心がけている	72	25	0	3	97	3	83
17	園は、小学校との連携、交流活動を積極的に取り入れている	63	31	6	0	94	6	53
18	園は、未就園児教室(ぴよんあり)を通して地域への情報発信や子育て支援に努めている	63	34	3	0	97	3	73
19	韓国語、日本語、英語に触れるとともに、互いの違いを認め合い、仲良くしようとしている	69	25	3	3	94	6	93
20	園は、一時預かり保育と延長保育を実施し、いっそう開かれた園づくりに取り組んでいる	78	22	0	0	100	0	80
21	園行事は、子どもたちが充実したものになっている	66	34	0	0	100	0	73
22	園行事を通して、子どもの園での様子や成長が感じられる	69	31	0	0	100	0	87
23	園は参観日・誕生会など、幼稚園の公開に努力している	72	25	3	0	97	3	77
24	園行事は、年間を通して適切な時期に設定されている	56	28	16	0	84	16	67
※1番は、白票が6%あり、これを含め合計100%となります。								

2015 年度 学校評価アンケート

教員自己評価(取り組み状況及び達成状況)と今後の改善方策

(1) 民族的なもの … 自分の民族に親しむ心を育てる

園では、日常のあいさつや生活、また行事を通して、韓国の民族、文化に親しむ心を育てるよう心がけています。

挨拶や生活用語でウリマル(韓国語)をふんだんに使うことを基本に、朝の会や終わりの会での歌や手遊び、読み聞かせ、また保育の中でのクゴ(韓国語)の時間、舞踊の時間設定など安定した取り組みをしてきました。

保護者の皆様からのアンケート結果も94%が良い評価をしていただいていたのですが、残りの6%に対する努力と反省も行っていきたいと思います。

物作り、描画、遊び、食生活の中でも、韓国文化につながる課題の研究をかさね、日本や、世界の国々の文化とも合わさって、よりよい形での自分の民族に親しむ心を育てていきたいと思います。

(2) 活動面 … 遊びを通して学び、生きる力を育てる

今年度は学院全体の竣工により、園庭も保育室も充実した環境の中で保育を行うことができました。初めて幼稚園に通いだす園児もだんだん登園が楽しくなり、幼稚園が大好きという声を聞くと本当にうれしくなります。園での活動、経験、体験、行事を通して子どもたちが楽しみ、達成感や充実感を得、成長につながっているということに関連する項目においてはどれも高い評価をいただきました。

身近な自然に親しみ、金魚の池や野菜畑など、園内での飼育や栽培活動で命の育み、大切さに気づき、いたわる心、慈しみ、協力する心を育てる活動は、これからも継続、発展させていきたいと思います。また、年齢に応じた環境設定にも力を入れることを来年度の目標に据え、発表会などの行事では、子どもたちの主体性を大切に「考え、話し合い、実行」できるよう、助言、指導に努め、より積極的な活動を支援したいと思います。

小学校との交流活動では、オリニチュッチェ(子ども祭り)にむけて民族遊びを教えてもらったり、お正月のあいさつ、遊びなど、年長のケナリ班をはじめ園児全体を対象に行いましたが、就学へのサポートも考慮し、更に充実した交流ができるよう、連携していきたいと思います。

より教育的な効果、配慮に長けた環境づくりをめざし、子ども達の活動に広がりを持たせる努力を続けたいと思います。

(3) 生活面 … 基本的な生活・食習慣を身につける。丈夫な体作りを通して健康への関心を育てる。

園では「自らすすんで挨拶する」「着替え、整頓、排泄等、身の回りの事の自立」「食事のマナーや、好き嫌いをなくす」「健康で丈夫な体をつくる」など、生活面で良い習慣を身につけられるよう、園と家庭とで連携して取り組んでいます。今年度はトイレの手洗い石鹸を保健指導の先生と連携して、新しくより衛生的な形を検討しました。

年間を通して行うリズム運動や体操教室、外遊び、広い運動場を使っでの運動など、丈夫な体づくりを目指す上でも、より充実した指導をめざします。特にリズム運動では一つひとつの動きの意味を再確認して指導していきたいと思います。

園ではお友達、先生、大人の方々への挨拶が進んでできるよう指導したり、その時々声がけをしていますが、「自分から進んで挨拶する」ことについての評価の81%という数字について、今までの指導のあり方を再度見直し、家庭との連携を得ながら取り組んでいきたいと思っています。

(4) 人権面 … 自尊感情を高め、人とかかわる力を育てる

「自尊感情を高め、人とかかわる力を育てる」事に関する項目ではどれも良い評価をいただきました。園では「自分を大切に思い」、「相手を思いやる気持ちをもつ」ことを大切に考えています。先生方も「一人ひとりの子どもたちをよく理解し、子どもたちのよさや力を引き出す」ことを念頭に保育に取り組んでいます。

縦割り活動やグループ活動は、複数の仲間たちとのかかわりを持ち、同年齢だけでなく異年齢の子どもたちとの交流の場です。年上の子どもたちが小さい子どもたちを手伝ったり、助けたり、年少の子たちは大きなお兄ちゃん、お姉ちゃんをお手本にたくさんの学びができます。慈しみ、思いやり、他とかかわる力を育てるため、その有意性を踏まえ、さらに意義ある取り組みを研究していきたいと思っています。

また、韓国語、日本語、英語の文化を知ることにより、多文化の中で共生できるよう、支援したいと思っています。

(5) 地域連携 … 地域に開かれた園づくり

教育方針、活動の様子や行事のお知らせなどの園からの情報発信について、「教育方針は年度のはじめにプリント」で、「行事の案内は通信やお知らせ」で、「活動の様子は行事ごとに通信やブログ」でお伝えし、ホームページの充実とブログでの発信の回数を増やすことに取り組みましたが、アンケートの結果からするとまだまだ工夫、検討を重ねていかななくてはなりません。保護者の皆様のご

意見、アイデアをいただきながらより良い形を模索したいと思います。

地域へは、住吉区の「すみちゃん子育てネット」などを通して、未就園児教室「ぴよんあり」の開催を発信し、子育て保育の支援活動が定着してきました。また、住吉区のボランティアのおじいちゃん、おばあちゃんに花の苗をいただき、植え方を教わったり、読み聞かせをしていただいたりする機会も持つことができました。

来年度も地域との連携を保育活動の一環に組み込み、開かれた幼稚園を目指したいと思います。

2016年3月22日

学校法人 白頭学院 理事会・評議会 貴中

2015年度 建国幼稚園 学校関係者評価

建国幼稚園学校関係者評価委員会

★保護者アンケートの結果もとに行われた教員自己評価について「学校関係者評価」を行いました。

学校関係者評価委員（5名）：
金秀子 副園長
康龍江 主任
金順子 PTA 会長
李恵媛 PTA 副会長
金正淑 クラス委員

実施日：2016年3月15日

場 所：白頭学院 会議室

○項目別評価について

1 民族的なこと

挨拶のみならず、保育中の韓国語が増えているおかげで、園児の韓国語理解度が高まっていることを保護者として実感しています。

毎月の歌を保護者に紹介して頂くことを提案しました。保護者と園児が一緒に歌うことで園での生活をより身近に感じることができるのではないかと思います。

2 活動面

園庭での金魚飼育・野菜畑など、毎日の園生活の中での心の成長を感じました。

また、発表会活動の中の「考え、話し合い、実行」できるようご指導いただいていることは、子どもたちに根付きつつあると思います。

3 生活面

朝のリズム体操を「ひとつひとつの運動のもつ意味を再確認しながら指導」されることに、お忙しい中でも園児の為にマンネリ化させない努力を感じました。

4 人権面

縦割り教育による「年上をお手本にし、年下を思いやる心を育てるため」の取り組みをさらに意義あるものにしようという先生方の意気込みを感じました。

建国に通わせたいと思う大きな理由の一つとして、年下を思いやる心が身についているということをよく耳にします。建国の根っこを担う幼稚園の存在は大きいと思いました。

5 地域連携

教育方針や、行事ごとにプリントをいただきますが、隅々まで目を通さない保護者が多いのが現状です。園での様子をブログで発信してくださっていますが、そのブログを見る保護者もいれば、見ない保護者もいます。ホームページもブログにつながりやすいように更新されていることも知らなかったもので、連絡帳を活用して頂くことを提案しました。

○全体のまとめ

保護者アンケートの高評価に甘んじることなく、さらなる努力を惜しまない教員自己評価を高く評価します。学校関係者評価会を通して、先生方の意欲を強く感じました。園児が飛躍的に増えていることは、校舎が新しくなり施設が整ったことだけではなく、先生方の努力があるからだと思います。園で行っている様々なことをたくさん発信して頂き、これからも保護者との連携をもとに楽しい園になることを期待します。